

令和3年度第1回嘉麻市自殺対策連携協議会会議録

1. 審議会等の名称 嘉麻市自殺対策連携協議会
2. 開催日時 令和3年12月16日(木) 14時から15時
3. 開催場所 嘉麻市役所 委員会室1
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員
出席：堂本委員、山崎委員、田淵委員、小出委員、浅海委員、中野委員、菓委員
香月委員(代理)、平塚委員、末吉委員、中村委員
欠席：井上
 - (2) 執行機関
健康課長 課長補佐1名、職員1名
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 無し
8. 議題及び審議の内容
 1. 福祉事務所長あいさつ
 2. 議題
 - (1) 令和元年自殺の現状
【事務局】厚生労働省「地域における統計資料」から作成した自殺者の推移、人口10万対の自殺死亡率、年齢階級別の自殺者死亡割合の推移、令和2年自殺者数の自殺対策推進センターの分析結果について

【委員】20代が増加し、50代が横ばいといったことだが原因はわかりますか？
【事務局】はっきりした原因をつかむことはできませんが、遺書や家族等の聞き取りなどからこういったことが原因だったのではないかということで、把握できている数字としては「健康問題」や「勤務問題」が多くなっています。
【委員】明確な原因は把握できないということですね。
【委員】自殺というと一人暮らしで孤独に落ち込まれている方といった印象があるが、やはりそうなのですか？
【事務局】統計的には、同居ありの方と同居なしの方で分けられていますが、同居ありの方の方が多い状況です。計画策定時の平成24年から平成28年の5年間の嘉麻市の自殺者68人においては、同居ありが66.2%、同居なしが65.9%になっています。
 - (2) 第1次嘉麻市自殺対策計画進捗管理シート
【事務局】第1次嘉麻市自殺対策計画進捗管理シートは、計画にあげているすべての事業について、評価及び計画を記載し、報告することが義務付けられています。今年度も、担当課や関係機関の皆様に依頼をし、まとめたもの6月に国に報告

をさせていただいています。

研修会や講演会、相談会など不特定多数の方が集まるような事業については新型コロナウイルス感染症対策で未実施となっています。

【委員】連携協議会なので、この会議は協議を行う場と思い参加したが、報告だけの会議なのではないでしょうか？

【事務局】ご質問いただいたように、本来ならば年度当初にこの会議を開催し、前年度の計画の評価と、今年度の計画について協議していくといった目的をもった協議会になります。初年度は第1次の計画書をこの協議会で協議し策定を行っております。

【委員】進捗管理シートの達成度が100%になっているものや、達成になっているものがあるがどういった意味なのではないでしょうか？

【事務局】事業の目標を数値で表せるものについては、数値で評価し、達成が目標数字の何パーセントなのかといったことで数値ができるのですが、ほとんどが数値化できないものが多く、事業として実施できたものは「実施」「100%」などと担当者の方で判断し記載していただいているため統一できていない。

【委員】経営改善普及事業の所で、巡回指導回数が1308回になっているが、全て自殺相談の巡回なのではないでしょうか？ 行政でどのようにされているのでしょうか？

【事務局】今言われている事業は、担当課が商工会になっています。商工会で行われている事業を記載しています。このシートにあげている事業が全て自殺対策としての事業ではなく、自殺の原因が色んなことがあるため、そういった事業が自殺予防につながっていくといった可能性のある事業を掲載しています。ですから、ここの数字がすべて自殺に関する数字ではなく、事業も実績として掲載しています。

【委員】事業所を巡回し相談や色んな申請の支援を行った回数になります。

【委員】自分は男女共同参画の協議会のほうの委員もしているが、自殺とDVの関係もあると思えるが、連携はされているのでしょうか？

【事務局】一緒に事業を実施していくといったことではないが、男女共同参画室の事業におきましても、自殺予防につながるといったことで、計画書の中には入れさせていただいています。

【委員】自殺を考えている方は、どこに相談しているのでしょうか？行政に相談に来られる方はありますか？

【事務局】自殺の原因は複数絡み合っていて、人それぞれ内容もことなります。その方が困っていることに対して担当課に相談に行かれることとなります。健康課においても、死にたいんですがと直接相談に来られるよりも、うつ症状などで相談に見えて、話の中で聞いてみると、「自殺しようとした」「過去に自殺未遂を起こした」といったことはあります。相談に見える方は、何らかの支援ができますが、相談することもなく、追い込まれて自殺してしまうといったことになるのではないのでしょうか？

【委員】今、インターネットなど24時間の相談場所もあるが、行政はどういったことを

しているのですか？

本日、講演会のチラシが資料にあるがこういったことはされていたのか？

【事務局】毎週水曜日こころの電話相談をやっていて、ホームページに掲載しています。電話相談から、県が公表している相談にリンクするようにして周知を行っています。また、相談窓口の一覧を作成し、庁舎内で情報提供したり、保健だよりに掲載したりして市民の方には情報発信しています。

講演会につきましては、3月の自殺対策強化月間に毎年実施しております。

【委員】情報提供ですが、計画書のP59から色んな相談場所が掲載してあるので、参考にされたらいかがでしょうか？

【委員】若い方の自殺で学校との連携はできているのでしょうか？

【事務局】教育委員会との連携で、SOSの出し方教育の推進が言われていますが、今の段階でできておりません。しかし、学校のほうで、いのちの教育など実施しているといったことは聞いています。

【委員】この協議会で、事例検討会など実施して自殺対策を具体化するのもいいかもしれませんね。